

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 テイン
 コード番号 7217 URL <http://www.tein.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市野 諒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 那須 賢司

TEL 045-810-5511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,516	△3.0	73	50.4	51	49.8	52	62.4
23年3月期第2四半期	1,564	△3.7	48	12.1	34	△0.2	32	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 27百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.13	—
23年3月期第2四半期	6.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,181	2,451	77.1
23年3月期	3,173	2,423	76.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,451百万円 23年3月期 2,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,835	△1.7	△38	—	△29	—	△33	—	△6.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,652,250 株	23年3月期	6,652,250 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,458,450 株	23年3月期	1,458,450 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,193,800 株	23年3月期2Q	5,388,800 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島原子力発電所の事故の影響を受けて急速に悪化した後に、個人消費の持ち直しや自動車関連メーカーも含めた企業活動にも回復の動きが見られました。一方で、災害復興政策の遅れによる混乱や電力不足による操業調整を余儀なくされ、さらには欧米諸国における財政不安や世界的な景気減速懸念、記録的な円高の進行と定着化など、先行きは極めて不透明な状況となっております。

カーアフターマーケットにおきましても、一部では持ち直しの動きが見られたものの前述の先行き不透明感から持続性に欠け、また新車販売台数の低迷に呼応するかのようには活況感に欠ける展開となり、依然として厳しい経営環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループではストリート向け車高調整式ショックアブソーバーの高品質ベーシックモデル「STREET BASIS」の販売促進に引き続き傾注するとともに、客先仕様による受注などにも力を注ぎました。また、国内外における販売代理店との緊密な連携や、地域情勢等に配慮したキャンペーンなども継続しておこなってまいりました。

しかしながら、カー用品需要は前述のように力強さに欠け、また強い円高傾向の影響などもあったことから当第2四半期の連結売上高は1,516百万円（前年同期比47百万円、3.0%減）と、前年同期と比較して若干の減収となりました。

一方、利益の面においては、前期において実施した各種の固定費、経費の削減策が奏功し、経常利益51百万円（前年同期比17百万円、49.8%増）、当期純利益52百万円（前年同期比20百万円、62.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ7百万円増加し、3,181百万円となりました。なお、現金及び預金は、前連結会計年度に比べ264百万円増加し、1,774百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、19百万円減少し、730百万円となりました。これは主として、買掛金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ27百万円増加し、2,451百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ364百万円増加し、1,774百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は297百万円（前第2四半期連結累計期間268百万円の取得）となりました。これは主として減価償却費37百万円、売上債権の減少額44百万円、たな卸資産の減少額156百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果取得した資金は78百万円（前第2四半期連結累計期間27百万円の支出）となりました。これは主として定期預金の払戻による収入100百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは、当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は0百万円（前第2四半期連結累計期間3百万円の支出）となりました。これは配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,510,000	1,774,710
売掛金	231,444	183,495
商品及び製品	660,141	526,700
仕掛品	80,416	60,150
原材料及び貯蔵品	156,155	134,137
その他	79,523	63,867
貸倒引当金	△2,829	△2,517
流動資産合計	2,714,852	2,740,544
固定資産		
有形固定資産	237,505	228,749
無形固定資産	29,972	24,358
投資その他の資産		
その他	205,263	199,027
貸倒引当金	△13,906	△11,078
投資その他の資産合計	191,356	187,948
固定資産合計	458,835	441,056
資産合計	3,173,688	3,181,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,159	170,224
その他	210,736	216,524
流動負債合計	414,895	386,749
固定負債		
退職給付引当金	128,322	135,448
役員退職慰労引当金	152,108	154,728
その他	54,600	53,100
固定負債合計	335,031	343,276
負債合計	749,926	730,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,556	217,556
資本剰余金	215,746	215,746
利益剰余金	2,581,708	2,634,359
自己株式	△473,429	△473,429
株主資本合計	2,541,581	2,594,232
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△117,819	△142,658
その他の包括利益累計額合計	△117,819	△142,658
純資産合計	2,423,761	2,451,574
負債純資産合計	3,173,688	3,181,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,564,298	1,516,758
売上原価	957,360	951,567
売上総利益	606,937	565,190
販売費及び一般管理費	558,148	491,820
営業利益	48,789	73,370
営業外収益		
その他	10,760	11,974
営業外収益合計	10,760	11,974
営業外費用		
為替差損	24,564	32,020
その他	452	1,590
営業外費用合計	25,016	33,611
経常利益	34,533	51,734
特別利益		
固定資産売却益	153	1,596
受取和解金	4,200	—
特別利益合計	4,353	1,596
特別損失		
固定資産除却損	348	102
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,568	—
その他	243	0
特別損失合計	2,160	103
税金等調整前四半期純利益	36,726	53,226
法人税、住民税及び事業税	4,312	575
法人税等合計	4,312	575
少数株主損益調整前四半期純利益	32,413	52,651
四半期純利益	32,413	52,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,413	52,651
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△32,645	△24,838
その他の包括利益合計	△32,645	△24,838
四半期包括利益	△231	27,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231	27,812

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,726	53,226
減価償却費	50,610	37,101
売上債権の増減額 (△は増加)	86,023	44,661
たな卸資産の増減額 (△は増加)	114,856	156,100
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,365	△27,998
その他	△27,617	22,943
小計	256,233	286,034
法人税等の支払額	△6,078	△333
法人税等の還付額	17,040	10,721
その他	857	1,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,053	297,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,893	△23,513
貸付けによる支出	△16,217	—
その他	△7,980	2,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,091	78,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,429	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,429	△184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,939	△11,128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	224,593	364,709
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,634	1,410,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,530,228	1,774,710

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社グループは、自動車用サスペンションの製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。